

給与支払報告書（個人別明細書）項番 91～94（生年月日）について

給与支払報告書（個人別明細書）については、様式改正に伴い生年月日欄が変更されておりますが、一部の給与支払者が旧様式で提出をする可能性があります。

つきましては、下記の内容をご一読の上、パンチしていただきますようお願いいたします。

【令和3年度以降の様式】

受給者生年月日			
元号	年	月	日
平成	3	7	16
(91)	(92)	(93)	(94)

- 元号に「明治・M」とあれば「1」、「大正・T」とあれば「2」、「昭和・S」とあれば「3」、「平成・H」とあれば「4」、「令和・R」とあれば「5」をパンチする。

→ 上記の例であれば、91→4、92→03、93→07、94→16とそれぞれパンチする。

【旧様式（令和2年度以前分）】

受給者生年月日							
明	大	昭	平	令	年	月	日
		*			33	4	5
(91)					(92)	(93)	(94)

- 旧様式では年号がそれぞれ元号で仕切られており、該当する元号に「＊」または「○」が付される。
- 旧様式の場合は、「＊」または「○」が記載されている箇所を元号に読み替えてパンチする。

- ① 「明」に「＊」または「○」 → 「1」とパンチ
- ② 「大」に「＊」または「○」 → 「2」とパンチ
- ③ 「昭」に「＊」または「○」 → 「3」とパンチ
- ④ 「平」に「＊」または「○」 → 「4」とパンチ
- ⑤ 「令」に「＊」または「○」 → 「5」とパンチ

→ 上記の例であれば、91→3、92→33、93→04、94→05とそれぞれパンチする。